

水生生物調査の実施

平成29年9月15日、福島市立荒井小学校の児童が、学校の近くを流れる荒川で水生生物調査を実施しました。

- ・どのような生き物が棲んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度がわかります。
- ・児童が実際に川に入って水生生物を採集し、水質の程度を判定しました。



・震災以降、福島河川国道事務所による水生生物調査は途絶えていましたが、平成29年度から調査を再開しました。

・ふるさとの川・荒川づくり協議会や福島大学においても水生生物調査を実施しています。

水生生物調査の実施

水質の程度ごとの指標となる生物

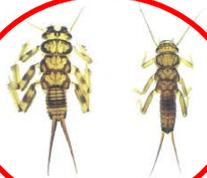
今回、主に採集された生物

「きれいな水」

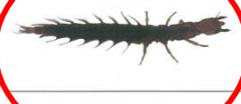
「ややきれいな水」

「きたない水」

「とてもきたない水」



カワゲラ



ヘビトンボ



フユ



ヒラタカゲロウ



アミカ



ナガレトビケラ



サワガニ



ヤマトビケラ



ウズムシ



ミスカマキリ



ニホンドロソコエビ



タイコウチ



タニシ



ミスムシ



ヒル



イソコツブムシ



セスジユスリカ



サカマキガイ



チョウバエ



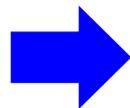
エラミミス



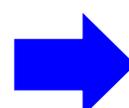
アメリカザリガニ

水生生物調査の実施

川の中で水生生物を採集



採集した生物を資料を見て整理



調査結果を発表



ピンセットや網を使って川底の生物を採集し、バケツに入れました。

どんな生物がどれだけ捕れたか、資料を見ながら調査結果を整理しました。

調査結果と、荒川の水質はどうか、発表しました。

水生生物調査の実施

3はん

表3. 記録用紙①

市町村名 _____ 学校(団体)名 _____
 河川名 _____ 調査者名(班名) _____

調査場所名(No.)	荒川 ()	()
年月日(時刻)	9・15・29 (:)	(:)
天気	晴れ	
水温(°C)	18°C	
川幅(m)	30m	
生物を採取した場所	右	
生物採取場所の水深(cm)	水深4/cm	
流れの速さ	ぶつう	
川底の状態	石	
水のにごり、におい、その他	きれい、にごり	
魚、水草、鳥、その他の生物	魚、水草	
その他気がついたこと 荒川には、ヘビトンボがたくさんいてヘビトンボはきれいな水にいるから荒川はきれいな水かながっている ・水がきれいなので石が見えた ・おくの方は流水が速かった ・てまえの方は流水がゆるやかだった ・にごり、ていたところの下にはすながたくさんあった		

表5. 記録用紙② 3はん

調査場所名		年月日(時刻)		(:)	
水質	指標生物	指標生物の数	水質	指標生物	指標生物の数
きれいな水 水質階級Ⅰ	1. カワゲラ類	6	きたない水 水質階級Ⅲ	1. ミズカマキリ	
	2. ヒラタカゲロウ類	4		2. ミズムシ	
	3. ナガレトビケラ類			3. タニシ類	
	4. ヤマトビケラ類			4. シマイシビル	
	5. アミカ類	2		5. ニホンドロソコエビ	
	6. ヨコエビ類		6. イソコツブムシ類		
	7. ヘビトンボ	18	とてもきたない水 水質階級Ⅳ	1. ユスリカ類	
	8. ブユ類			2. チョウバエ類	
	9. サワガニ			3. アメリカザリガニ	
	10. ナミウズムシ			4. エラヨミズ	
		5. サカマキガイ			
ややきれいな水 水質階級Ⅱ	1. コガタシマトビケラ類		その他気がついたこと 荒川にいた生物は全てきれいな水にいる生物だから荒川はきれいな水だと分かった		
	2. オオシマトビケラ				
	3. ヒラタドROMシ類				
	4. ゲンジボタル				
	5. コオニヤンマ				
	6. カワフナ類				
	7. ヤマトシジミ				
	8. イシマキガイ				